北海道医師会館９階理事会室

第９回常任理事会

日　時　令和７年７月８日（火）18：00～18：40
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・荒木・長谷部・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：長井事務局次長ほか13名）

協議事項

第１号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者10名と更新申請者112名を承認し、日医へ申請することと決定。

第２号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした新規申請者１名と更新申請者３名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

報告事項

１．第28回日本臨床救急医学会総会・学術集会［６月19日（木）～21日（土）・横浜市］について（白崎常任理事）

自治医科大学附属さいたま医療センター救急科・守谷俊教授が学会長となり、「Go for the Cutting Edge～最高のアウトカムを目指して～」をテーマに開催された。高齢者救急にかかるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の現状や小児の病院前救護等に関する講演が行われ、参加者は約3,240名であった。次回は来年７月16日（木）～18日（土）、大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター・藤見聡センター長が学会長となり、大阪市で開催予定。

２．全国医師会産業医部会連絡協議会［７月３日（木）・Web併用］について（髙橋常任理事）

厚生労働省から最近の労働衛生行政の動向について中央情勢報告があった後、シンポジウムとして、50人未満の事業場におけるメンタルヘルス対策の実施上の課題、昨今の労働環境変化における職場メンタルヘルスの課題と対策、産業医研修会を通じた取り組み等についてそれぞれ説明・報告があった。続いて、最近の活動報告として、佐賀県医師会から産業医部会の取り組みの事例報告があった。出席者は、会場52名、Web383名の合計435名であった。

３．北海道ドクターズゴルフ大会・協議会役員会［７月６日（日）・釧路市］について（目黒常任理事）

釧路市医師会の担当（大会長：釧路市医師会・柴田香織会長）により、釧路カントリークラブで開催し、64名が参加した。競技終了後の北海道ドクターズゴルフ協議会役員会では、役員の一部変更、前回大会（令和６年度・苫小牧市）の決算報告・監査報告を承認後、第58回大会（令和８年度）は、旭川市医師会の担当で来年７月５日（日）に大雪山カントリークラブにおいて開催することを確認した。なお、２年後（令和９年度）からの大会運営について、あらためて協議会役員会を開催し、検討することとなった。

４．外部各委員会報告

⑴　第１回道南ドクターヘリ運航調整委員会［６月24日（火）・Web］について（白崎常任理事）

委員長に札幌医科大学医学部救急医学講座教授・成松英智委員を選任した後、令和６年度の運航実績について、要請件数および出動件数はいずれも前年度から減少していること等の報告があった。また、労働環境の改善や搭乗スタッフの移動負担軽減等を目的に実施した「屋上ピックアップ出動試験」の結果、現場到着の遅延や医療機器の日次点検が困難になる等の課題を確認したほか、令和８年４月から格納庫の場所が変更されることについて報告があった。

⑵　第１回がん対策基金運営委員会［６月27日（金）］について（藤原副会長）

委員長には小職、副委員長に北海道対がん協会・加藤秀則副会長を選出した後、審査・評価部会委員５名を指名した。その後、令和６年度の事業実績、助成事業実績ならびに収支決算について説明があり、いずれも承認された。また、審査・評価部会に係る北海道がん対策基金運営委員会細則について、委員定数がそれまでの５名以内から１名増の６名以内とする改正案が承認された。

５．その他

⑴　日本医師会令和７年診療所の緊急経営調査について（水谷常任理事）

日医Ａ１会員の診療所管理者を対象に実施している本調査への協力を依頼した。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．第１回運営委員会［７月７日（月）］について
（藤原副会長）

委員長に小職、副委員長に北海道歯科医師会副会長・西隆一委員を選出した後、令和６年度各専門委員会協議実施状況の報告および令和７年度各専門委員会協議予定（案）について説明があり、７月29日（火）開催予定の第69回総会の内容等について協議した。

第10回常任理事会

日　時　令和７年７月29日（火）18：08～19：05
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（事務局：三瓶事務局長ほか15名）

協議事項

第１号　北海道地域医療研究会委員の委嘱に関する件（目黒常任理事）

佐古副会長が委員となることと決定。

第２号　札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員の推薦に関する件（目黒常任理事）

松家会長を推薦することと決定。

第３号　母体保護法指定医師の指定に関する件
（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者１名、再審査申請者１名を指定医師とすることと決定。

第４号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

第５号　その他

⑴　８月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．北海道医師会賞受賞者選定委員会［７月14日（月）］について（髙橋常任理事）

札幌市医師会、北海道大学医師会、札幌医科大学医師会、旭川医科大学医師会より推薦のあった今年度の北海道医師会賞受賞候補者６名について審査を行った（選定委員長：北海道大学・田中医学研究院長）。慎重審議の結果、６名全員を受賞者に決定した。

２．医育ブロック会議［７月14日（月）］について
（目黒常任理事）

三医育機関学長・病院長等の出席のもと「医師会組織強化」をテーマに鈴木副会長から話題提供後、意見交換を行った。三大学から、会費減免や医賠責保険等の入会のメリット、若手医師向けの表彰制度や日本医師会雑誌等の医師会の取組に係る情報提供が不十分ではないかとの意見があったほか、医師会と三医育大学が北海道の医療のために、病床数の削減、機能分化、医師派遣や少子高齢化時代の救急対応等について協力して取り組んでいくことを確認した。

３．第50回難病患者・障害者と家族の全道集会［７月26日（土）］について（藤原副会長）

来賓挨拶、患者・家族からのメッセージ、患者・支援者（友人）のミニライブの後、札幌大会スローガン「それが、ふつうの社会へ。NEXT50」と題した基調報告がなされた。

４．第２回一般社団法人全国有床診療所協議会総会「秋田大会」［７月19日（土）・20日（日）］について
（鈴木副会長）

秋田県医師会・小泉ひろみ会長が大会長となり、「地域医療のはざまを埋める有床診療所」をメインテーマに開催された。１日目は総会行事に引き続き、日本医師会総合政策研究機構・江口成美主席研究員から「地域医療の中の有床診療所―現状と今後―」、厚生労働省医政局・森光敬子局長から「新しい地域医療構想と医師の偏在対策について」と題した講演後、特別講演Ⅰとして、日医・松本会長から「地域のなかの有床診療所」の講演が行われた。２日目は、「今こそ、今だからこそ有床診療所の活用を！」をテーマとしたシンポジウムのほか、特別講演Ⅱとして、仁木博文厚生労働副大臣から「これからの日本の医療政策等について」の講演が行われた。参加者は210名（うち道内より７名）であった。次回は来年９月５日（土）・６日（日）に滋賀県大津市で開催予定。

５．外部各委員会報告

⑴　第１回北海道麻しん及び風しん対策専門会議［７月23日（水）・Web併用］について
（末岡常任理事）

小職が座長の指名を受けた後、北海道における麻しんおよび風しんの発生状況について報告があった。また、北海道感染症予防計画における麻しん・風しん対策について、推進状況と評価、今後の取組方針について協議を行った。

⑵　第１回北海道薬剤師確保対策検討会［７月25日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

前回検討会の開催結果、薬剤師確保対策の取組状況ならびに薬剤師派遣等について説明後、未就業女性薬剤師等の復職支援や薬剤師バンクを活用した就業斡旋・派遣事業および薬剤師への修学資金支援等今後の薬剤師確保対策について協議を行った。